

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

ヒメトビウンカのイネ縞葉枯ウイルス保毒状況（技術情報第2号）について（送付）
このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

本年のヒメトビウンカのイネ縞葉枯ウイルス保毒虫率は平年より低いことから、イネ縞葉枯病の発生は少ないと予想される。

1 調査結果の概要

5月中旬に麦主産地である玉名市、嘉島町、氷川町のそれぞれ3地点、合計9地点の小麦ほ場からヒメトビウンカ（成虫および幼虫）を採集し、簡易ERISA法を用いてイネ縞葉枯ウイルス保毒虫検定を実施した。その結果、

- (1) 保毒虫率の平均値は、0.2%で平年より低く（平年3.8%）、前年並（前年0.4%）であった（表1、図1）。
- (2) 近年、県内の保毒虫率は低下傾向を示している（図1）。

2 今後の留意点

本年のイネ縞葉枯病の発生は少ないと予想されるが、防除を行う場合は以下の点に注意する。

- (1) 発病株は伝染源になるので、できるだけ早めに抜き取る。
- (2) 最高分げつ期に感染すると不稔となり収量が低下するので、本田での発病やヒメトビウンカの発生が多い場合は防除を行う。
- (3) 県内では、各種薬剤に対して感受性が低下したヒメトビウンカの発生が確認されているので、薬剤の選定に注意する（平成29年3月10日付技術情報第14号 http://www.jpnp.ne.jp/kumamoto/H28/yosatu/170310gi_jyutu.pdf）。

表1 ヒメトビウンカのイネ縞葉枯ウイルス保毒虫検定結果(平成29年5月)

No.	地点名	検定数 (頭)	保毒虫数 (頭)	保毒虫率 (%)
1	玉名市北牟田1	100	0	0.0
2	玉名市北牟田2	100	0	0.0
3	玉名市北牟田3	100	1	1.0
4	嘉島町上六嘉1	100	0	0.0
5	嘉島町上六嘉2	100	0	0.0
6	嘉島町上六嘉3	100	0	0.0
7	氷川町若洲1	100	0	0.0
8	氷川町若洲2	100	0	0.0
9	氷川町若洲3	100	1	1.0
合 計		900	2	0.2
昨年度(9地点の平均値、検定数各地点100頭)				0.4
平年度(過去10年の平均)				3.6

※本年は簡易ELISA法、平年度は簡易ELISA法(H27～H28)と高比重ラテックス凝集反応法(H19～H26)による検定結果をもとに算定

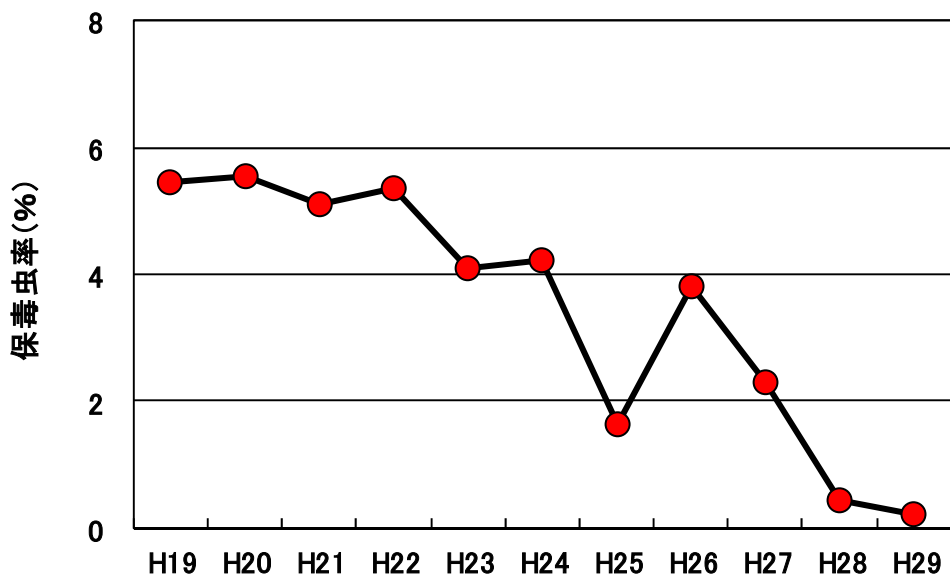


図1 イネ縞葉枯ウイルス保毒虫率の推移

熊本県病虫害防除所
 (熊本県農業研究センター 生産環境研究所
 病虫害研究室 予察指導係)
 担当：春山・加賀山 TEL 096-248-6490